

雷から命や機器を守るために！

写真提供：音羽電機工業株式会社



雷ミュージアムには、電柱や電車、新幹線、工場、病院、ビルをはじめ、東京スカイツリーや清水寺、風力発電所の風車など、同社の避雷器が導入されている施設の模型が。「気付かない所で雷被害から守っています」と吉田社長。

詳しくはこちら

夏のイメージが強い雷は、実は年間を通して発生し注意が必要です。尼崎市にある国内唯一の雷対策専門メーカー、音羽電機工業(株)の吉田厚社長に、身近にできる対策などについて伺いました。(取材・文 本紙編集部)

Q.雷から命を守るためには。
ゴロゴロと鳴ったらすでに危険なサインなので、建物内に入りましょう。木の下や軒下は直撃されやすいためNGです。周囲に建物がなければ車の中も有効ですが、金属部には触れないようにしてください。
Q.雷被害の特徴は。
雷による国内の年間被害額は約3,000億円ともいわれています。その大半が「雷サージ」と呼ばれる、落雷時に発生する異常な電圧・電流によるもので、電源線や通信線を伝って建物内に入り込み、電気製品などを故障させます。テレビやパソコンが突然つかなくなって調べてみ

ると、雷サージが原因だったというケースもよくあります。
Q.対策としてできることは。
雷が鳴りそうになったらコンセントを抜くのが一番ですが、多くの場合それは難しいため、避雷器を設置することです。雷サージだけに反応して瞬時に遮断するもので、家庭でも分電盤に設置することが可能ですし、コンセントやLANコネクタタイプもあります。弊社のホームページでは雷対策も紹介しているので、ぜひ参考にしてください。

SDGsに配慮して開発した再生プラスチック材を使った通信用の避雷器。



とびきり新鮮な黒枝豆の収穫体験を

丹波篠山市で一年を通じてさまざまな農作物を栽培している「丹波たぶち農場」では、10月上旬から丹波黒枝豆が収穫期を迎えます。畑に入って収穫を楽しんでもらいたいと「黒枝豆狩り」を実施しており、昨年は参加者が1万人を超えるほど好評でした。古来沼地だった粘土質の栄養豊富な土壌と昼夜の寒暖差の激しい気候が育む丹波篠山の黒枝豆は、粒が大きく、強い甘みとうまみが自慢です。鮮度が味を左右する黒枝豆をこれほど新鮮な状態で入手できる方法は、他にないのでは。(丹波たぶち農場代表 田淵泰久さん)



好きな株を選んで収穫。「黒枝豆、米、イチゴのことなら大抵答えられるので、気軽に聞いてください」と田淵さん。10月中旬の週末は市内全域が非常に混雑するため、平日や下旬以降がおすすめです。

丹波篠山「デカンショ豆」、「黒枝豆」収穫体験、田植え体験 ……

10月5日(日)ごろ～11月3日(月)※5月～6月は田植え体験、7月～8月は茶豆系統の枝豆、デカンショ豆狩りを実施
◆持ち物＝長靴、帽子、汚れてもいい服装
※丹波たぶち農場(丹波篠山市口阪本158)
¥1株650円 同農場 ☎090-8650-0415

詳しくはこちら



SDGsや未来について考える

大阪・関西万博の期間中、参加国や自治体が地球規模の課題について議論する「テーマウィーク」に連動し、県も「ひょうごEXPO week」としてテーマに沿ったイベントを発信。10月のテーマは「SDGs+ Beyond いのち輝く未来社会」です。(県万博推進課)

神戸医療産業都市一般公開、理化学研究所一般公開

神戸医療産業都市内の施設を一斉公開。スーパーコンピュータ「富岳」の見学をはじめ、子ども向けの医療の仕事体験、健康計測体験など、科学の最前線を楽しく学べます。無料(一部申し込みが必要)。



10月4日(土)10時～16時30分(イベントにより異なる)
※同都市内の各施設(神戸市中央区)

詳しくはこちら

めぐると未来社会を考える日2025 in橋の科学館

県内で地球に優しい取り組みを展開する事業者が集まり、ワークショップや物販など、SDGsをテーマにしたイベント。入場無料(一部申し込みが必要)。

10月4日(土)10時～16時
※橋の科学館(神戸市垂水区)

詳しくはこちら

県万博推進課 ☎078-362-9114 ☎078-362-3950